

平成30年度各事務事業の実績

## 1 さわやかスクールサポート事業（学級支援）…学務課

通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒への生活指導及び自立支援を行うことで、学校・学級の円滑な運営、事故防止を図るとともに、学級集団の少人数化により、きめ細かな個に応じた指導を充実させ、中1ギャップの解消及び基礎学力の向上を図る。

### 【事業の対象・対象数】

アップスマイルサポーター

通常学級に特別な支援を必要とする児童生徒が在籍する小・中学校、全33校と平方幼稚園の1園  
アップスマイル教員

第1学年の1学級あたりの生徒数が35人を超える中学校

### 【事業の内容】

障害のある児童及び生徒が在籍する通常学級に対し、生徒指導の充実と健全な学級運営を図るため、学級担任等の教員の補助を行うアップスマイルサポーターを配置する（平成30年度は83人）。また、少人数学級を編制し、きめ細かな指導を行い、中1ギャップの解消等を図るため、アップスマイル教員を配置する（平成30年度は7人）。

### 【決算額】

平成28年度 86,551千円、平成29年度 104,220千円、平成30年度 100,812千円

## 2 指導方法改善事業…指導課

適正な教育課程を編成・実施し、教育活動の充実や教員の指導力の向上及び授業の充実を図るために必要な図書・資料の作成・配布、研修会の開催等を行う。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校 全児童生徒・教員及び管理職 各種研修会等参加者

### 【事業の内容】

学力向上プランの作成、上尾市立小・中学校教育指導計画基本方針の印刷製本（全教職員への配布。配布数は1,000冊）、研修会の開催等

### 【決算額】

平成28年度 39,887千円、平成29年度 1,143千円、平成30年度 14,227千円、

### 【参考指標】

上尾市学力調査における国語・算数（数学）・英語の総合（全国平均を50としたときの平均値）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
小学校	51.9	50.0	目標52以上	目標52以上	目標52以上
中学校	51.2	51.9	目標52以上	目標52以上	目標52以上

## 3 魅力ある学校づくり事業…指導課

各学校が教育課題を定め、研究をとおり、教員の指導力の向上を図るとともに、児童生徒・保護者・地域から信頼される学校を築く。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市立幼稚園・小・中学校

### 【事業の内容】

市立幼稚園及び小・中学校において教育課題の研究を推進する。各学校に対して、3年サイクルで【①研究準備→②研究1年目→③研究2年目<研究発表>】、2年間の計画的な研究を委嘱している。各学校では創意工夫を生かした教育活動を展開することにより、魅力ある学校づくりを行う。また、上尾市教育

研究会に対して、全体研修会や各部会の研究の補助金を交付し、教職員の資質の向上を図る。

【決算額】

平成28年度 6,764千円、平成29年度 5,644千円、平成30年度 3,344千円、

【参考指標】

上尾市学力調査における国語・算数（数学）・英語の総合（全国平均を50としたときの平均値）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	51.9	50.0	50.4
中学校	51.2	51.9	51.7

新体力テスト（総合評価上位3ランク（A+B+Cの割合））単位：%

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	74.4	82.7	81.4
中学校	87.8	89.4	88.3

#### 4 学力向上支援事業…指導課

学力調査結果の分析を多面的に行い、学力向上策を立案して、学習指導に取り組むことにより、児童生徒一人一人の学力を向上させる。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小学校 第2学年・第3学年・第4学年・第5学年・第6学年 全児童

上尾市立中学校 第1学年・第2学年 全生徒

【事業の内容】

各小・中学校の児童生徒一人一人に「確かな学力」を育成するため、標準学力検査用紙を用いて、基礎的な学力定着の実態を把握し、学校の教育課程の編成や学習指導方法の工夫・改善に役立てる。

【決算額】

平成28年度 7,541千円、平成29年度 7,654千円、平成30年度 7,531千円

【参考指標】

上尾市学力調査における国語・算数（数学）・英語の総合（全国平均を50としたときの平均値）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度
小学校	51.9	50.0	目標52以上	目標52以上	目標52以上
中学校	51.2	51.9	目標52以上	目標52以上	目標52以上

#### 5 日本語指導職員派遣事業…学務課

日本語が理解できない児童生徒に、日本語や日本文化習得の支援を行い、授業をはじめとする学校生活に意欲をもって参加できるようにする。

【事業の対象・対象数】

計40人（内訳：タガログ語24人、中国語7人、モンゴル語3人、英語3人、スペイン語2人、ネパール語1人）

【事業の内容】

日本語が理解できない児童生徒に対して、日本語習得の援助及び指導を行うため、在籍する小・中学校に日本語指導職員を配置する。平成30年度は、15人を配置した。指導員派遣率（派遣数/申請数×100）は、100%であった。

【決算額】

平成28年度 2,686千円、平成29年度 2,420千円、平成30年度 3,176千円

## 6 小中学校ALT配置事業…指導課

小学校では「外国語活動」及び「総合的な学習の時間」をとおして、外国語に慣れ親しみ、外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、中学校では、「外国語」の授業をとおして、英語力の向上、コミュニケーション能力の育成を図る。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校 全児童生徒

### 【事業の内容】

児童生徒が、国際社会において、外国の方と積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力や英語力、態度を身に付けるための体験的学習や国際理解教育を推進するため、ALTを配置する。

### 【決算額】

平成28年度 89,331千円、平成29年度 82,617千円、平成30年度 87,962千円、

### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小・中学校ALT配置人数	27人	27人	29人
ALT1学級当たり年間活用時数(小学校)	28.4時間	28.9時間	35.6時間
ALT1学級当たり年間活用時数(中学校)	40.4時間	40.0時間	43.7時間

## 7 中学生海外派遣研修事業…指導課

コミュニケーション能力、英語力、表現力をはじめ、将来、国際社会で貢献できる人材として必要な資質・能力及び態度を有した生徒を育成する。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市立中学校第3学年生徒 22人

### 【事業の内容】

中学生に豊かな国際感覚を養い、国際社会に貢献できる人材として必要な能力や態度を育成する教育活動の一環として、市立中学校に在籍する生徒を対象に、8日間のホームステイや授業体験、スポーツ交流、文化交流等の英語研修等のプログラムを特色とした11日間の海外派遣研修を実施する。

### 【決算額】

平成28年度 7,960千円、平成29年度 9,122千円、平成30年度 8,580円、

### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
海外派遣研修応募生徒数	60人	51人	53人
海外派遣研修派遣生徒数	22人	22人	22人

## 8 教育研究開発事業…指導課

本市小・中学校が、文部科学省、国立教育政策研究所、埼玉県教育委員会の委嘱を受け、研究を行う。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市立東中学校、上尾市立大石小学校、上尾市立東町小学校

### 【事業の内容】

「グローバルシティズンシップ科」によるシティズンシップ教育の研究開発、教育課程研究指定校による図画工作科の研究、学力保障スクラム事業による国語・算数の研究

### 【決算額】

平成28年度 1,913千円、平成29年度 2,839千円、平成30年度 3,419千円、

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度目標
アンケート調査による社会参画意識（2009年に、日、韓、米、中の4か国で実施した調査と比較）	63.9%	66.8%	68.8%	70%

9 中学生社会体験チャレンジ事業…指導課

生徒の勤労観や職業観を育成し、社会性や自立心、表現力、礼儀作法、コミュニケーション能力などを養う。また、教職員と事業所担当者等との打合せ、教職員やPTAによる各事業所等への巡回、校長による各事業所等への挨拶などをおして、学校、保護者及び地域との連携を深める。

【事業の対象・対象数】

上尾市立中学校第2学年生徒

【事業の内容】

市内中学校生徒が市内等の事業所等において2日間の社会体験活動を行い、勤労観や職業観を育成し、進路指導・キャリア教育を推進する。

【決算額】

平成28年度 684千円、平成29年度 729千円、平成30年度 760千円、

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度目標
職場体験事業所数	244	245	235	—
「将来の職業など、自分の進路について考えるようになった」と回答した生徒の割合	47%	49%	51%	52%

10 教科用図書等整備事業…指導課

体育科・社会科・道徳の授業において、準教科書及び副読本を用い、効果的に活用して児童生徒の基礎基本の定着、豊かな心の醸成を図る。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校全児童生徒

【事業の内容】

小・中学校の体育科、保健体育科の準教科書、社会科・道徳の副読本の無償給与と市独自の「社会科副読本」の作成・配布を行い、授業内容の一層の充実を図る。

【決算額】

平成28年度 13,752千円、平成29年度 13,505千円、平成30年度 9,156千円、

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度目標
道徳副読本整備率	100%	100%	100%	教科化対象外
体育科準教科書整備率	67%	67%	67%	67%
保健体育科準教科書整備率	100%	100%	100%	100%
社会科副読本整備率	100%	100%	100%	100%

### 11 特別支援学級補助員派遣事業…学務課

障害のある児童生徒一人一人のニーズに応じる教育の充実を図る。

#### 【事業の対象・対象数】

特別支援学級配置校

小学校22校48学級 児童194人、中学校6校16学級 生徒77人

#### 【事業の内容】

特別支援学級において、担任教員の行う指導の補助に当たるため、特別支援学級補助員を特別支援学級が置かれる市内小・中学校に配置する。

#### 【決算額】

平成28年度 26,835千円、平成29年度 27,214千円、平成30年度 27,755千円

#### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
補助員配置数 ※1	18人	18人	18人
補助員配置率 ※2	64%	64%	64%
補助員対象研修回数	9回	9回	9回

※1 配置は全て小学校（中学校は特別支援学級2学級以上の場合、教員数>学級数となるため）

※2 補助員配置率：補助員配置校数／特別支援学級配置校数（小・中学校）

小学校の配置率は82%

### 12 小中学校特別支援教育就学奨励事業…学務課

教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級への就学の事情を鑑みて、その保護者の経済的負担を軽減し、もって特別支援教育の推進に寄与する。

#### 【事業の対象・対象数】

特別支援学級配置校

小学生：受給者139人（対象者209人） 中学生：受給者62人（対象者81人）

#### 【事業の内容】

市内小・中学校の特別支援学級等に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、修学旅行費、学校給食費等の対象となる経費の一部を援助する。

#### 【決算額】

平成28年度 6,845千円、平成29年度 6,969千円、平成30年度 7,709千円

### 13 特別支援教育推進事業…指導課

特別支援教育研修会では、特別支援教育担当者が研修を深め、各小・中学校で適切な指導、必要な支援、授業改善が図られるようにする。特別支援学級設置校と特別支援学校の交流を兼ねた合同作品展は、障害のある児童生徒の創作意欲を喚起するとともに、市民にとっても、障害のある児童生徒を理解する機会とする。

#### 【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校の特別支援教育担当者及び市民

#### 【事業の内容】

特別支援教育担当者を対象とした各種研修会の実施及び市民啓発、特別支援学級設置校と特別支援学校の交流の目的を兼ねて合同作品展を開催する。

**【決算額】**

平成28年度 262千円、平成29年度 242千円、平成30年度 245千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
特別支援教育に係る研修会実施回数	7回	8回	8回
特別支援教育研修会参加率 ※	100%	100%	100%

※ 特別支援教育研修会参加率：研修会参加者数／33校×100

**14 学習支援事業…指導課**

校外行事实施に係る引率者の入場料等の経費を支援する。

**【事業の対象・対象数】**

上尾市立小・中学校教職員

**【事業の内容】**

小・中学校校外行事实施に係る引率者の入場料等の経費を一部負担する。

**【決算額】**

平成28年度 205千円、平成29年度 177千円、平成30年度 126千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
外部指導者補助率	45%	39%	—
外部指導者補助人数	84人	69人	—

外部指導者補助率：外部指導者活用に対する補助の割合

**15 さわやかスクールサポート事業（学校図書館支援）…指導課**

読書活動を推進するとともに、学校図書館の教育効果を組織的に高めることで、児童生徒に「確かな学力」と「豊かな心」を身につけさせる。

**【事業の対象・対象数】**

上尾市立小・中学校全児童生徒

**【事業の内容】**

読書活動は、子供が、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものである。そこで、各小・中学校図書館の充実を図り、読書活動を推進するため、アッピースマイル図書館支援員を小学校毎日4時間、中学校週1回又は2回4時間派遣する。

**【決算額】**

平成28年度 18,610千円、平成29年度 19,201千円、平成30年度 19,730千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小中学校に派遣する図書館支援員数	25人	25人	25人
1校当たりの派遣回数（平均）	小学校202回 中学校約41回	小学校202回 中学校約55回	小学校202回 中学校約55回
「読書が好き・どちらかといえば好き」と回答した児童生徒の割合	小学校80.6% 中学校75.2%	小学校77.4% 中学校74.1%	小学校76.8% 中学校70.5%

(上尾市小・中学校学力調査結果より)			
--------------------	--	--	--

#### 16 小中学校音楽会開催事業…指導課

市内小・中学校の児童生徒の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育て、情操豊かな児童生徒の育成を図るとともに、教員の研修の機会とする。

**【事業の対象・対象数】**

上尾市立小・中学校 児童生徒約 1,300名

**【事業の内容】**

児童生徒の音楽性の育成を図り、教員の研修の機会とするため、毎年度1回「上尾市小・中学校音楽会」を実施する。

**【決算額】**

平成28年度 251千円、平成29年度 1,353千円、平成30年度 1,267千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加学校数	実施せず	33校	33校
参加者数(児童生徒及び一般)	実施せず	約2,200人	約2,200人

#### 17 生徒指導推進事業…指導課

児童生徒の非行・問題行動の未然防止と、健全育成及び学校生活の充実を図る。

**【事業の対象・対象数】**

上尾市立小・中学校全児童生徒

**【事業の内容】**

中学校での非行問題の未然防止のため、4人の生徒指導支援員を要請のあった中学校へ派遣し、校内巡視や非行・問題行動をとる生徒への対応など、中学生の非行を未然に防ぐ活動を行う。また、生徒指導推進協議会の活動をとおして、各中学校区で小・中学校及び地域住民、警察等関係機関及び青少年育成団体、高等学校等と連携しながら、青少年健全育成活動、長期休業中のパトロールや補導を行い、地域と一体となった総合的な生徒指導を推進する。

**【決算額】**

平成28年度 4,432千円、平成29年度 4,448千円、平成30年度 4,317千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小・中学校の暴力行為発生件数	0件	3件	1件
各中学校区における補導回数	366回	396回	406回

#### 18 さわやか相談室運営事業…教育センター

児童生徒・保護者の身近な相談機関として中学校に相談員を配置し有効に機能させる。不登校生徒が学級復帰を果たすまでの第一段階として、教育相談主任・学級担任等と連携し、生徒個々にカウンセリング等を実施しながら学級復帰をめざす。

**【事業の対象・対象数】**

市内全中学校 11校

**【事業の内容】**



児童生徒・保護者等の様々な相談に応じるため、市内中学校のさわやか相談室に相談員を配置する。

【決算額】

平成28年度 20,019千円、平成29年度 163千円、平成30年度 180千円

※ 平成29年度から相談員の報酬に係る予算が総務部職員課に移管されたため、決算額が大きく減少した。

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相談員が扱った相談の延べ回数	10752回	12395回	16805回
相談の解決率 (解決件数/相談件数×100)	84%	82%	63%
不登校生徒数割合 (不登校生徒数/全生徒数×100)	2.29%	3.00%	3.68%

19 いじめ根絶対策事業（防止事業）…指導課

児童生徒の個々の状況を的確に把握し、いじめの未然防止や解消、いじめの早期発見・早期対応を図る。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校全児童生徒

【事業の内容】

いじめ問題は、社会問題化しており、教育上非常に大きな課題となっている。問題行動等の原因や背景は、個々のケースにより様々であるが、最近ではネットやスマホ・携帯電話を介した「いじめ」が増加し、学校における「いじめ発見」が難しい事例もある。このようなことから、児童生徒の個々の状況を的確に把握するための心理検査やネットパトロール調査を実施し、よりよい学級集団の形成に資するとともに、教員の資質向上、保護者との連携などをおして、いじめ根絶の取組を市全体で推進する。

【決算額】

平成28年度 6,733千円、平成29年度 6,412千円、平成30年度 6,284千円、

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
いじめホットライン・ ホットメール相談件数	5件	6件	8件

20 いじめ根絶対策事業（相談事業）…教育センター

いじめ相談の迅速な対応を行う。いじめ等の問題で児童生徒本人の心の問題とともに、置かれている環境に対し働きかけを行う。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校全児童生徒

【事業の内容】

「いじめホットライン」を設置し、いじめられている児童生徒の相談窓口とする。また、教育・社会福祉等の専門的な知識や技能を持ったスクールソーシャルワーカー（SSW）を設置し、児童生徒の問題行動等の解決を図る。

【決算額】

平成28年度 516千円、平成29年度 528千円、平成30年度 973千円

【参考指標】

指 標 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
いじめホットライン・ ホットメール相談件数	5件	7件	8件
いじめ相談解決率	100%	100%	100%

21 人権教育推進事業（指導課分）…指導課

人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進を図り、人権尊重の意識を高めることで、いじめや差別をなくせる学校の実現と相手の立場に立って考える思いやりのある児童生徒の育成を図る。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校全児童生徒・管理職及び教員

【事業の内容】

人権教育研修会（人権教育施設体験研修会を含む。）をとおして校長、教頭、教員の資質向上を図る。人権教育を視点においた指導方法の研究をより一層推進する。

【決算額】

平成28年度 1,226千円、平成29年度 1,139千円、平成30年度 1,176千円

【参考指標】

指 標 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人権教育に係る研修会・授業 研究会実施回数	7回	5回	9回
人権作文・標語集等配布率 (配布数/児童生徒数×100)	100%	100%	100%

22 不登校児童生徒の学校適応指導事業…教育センター

不登校児童生徒のうち、学校復帰に意欲のある者のより良い成長と自立を促し、指導・支援を行うことによって、学校への完全復帰を目指す。

【事業の対象・対象数】

市内小・中学校不登校児童生徒

【事業の内容】

不登校児童生徒の自立と学校生活への適応を図り、学校に復帰させることを目的として様々な指導・援助を行う。体験学習を多く取り入れた活動や学生ボランティアによる学習支援を実施する。

【決算額】

平成28年度 4,636千円、平成29年度 423千円、平成30年度 492千円、

※ 平成29年度から指導員の報酬に係る予算が総務部職員課に移管されたため、決算額が大きく減少した。

【参考指標】

指 標 名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
適応指導教室入級者数	17人	9人	9人
適応指導教室開設日数 (4月及び水曜日を除く平日) *夏休は火・木のみ開設	151日	151日	151日
学校への復帰率	94%	78%	36%

(学校復帰した人数／入級者×100)			
--------------------	--	--	--

### 23 教育相談事業…教育センター

幼児及び児童生徒と保護者、学校関係者が抱える教育問題等を解消する。特に不登校児童生徒については、学校（相談室・適応指導教室を含む。）に復帰させる。

#### 【事業の対象・対象数】

上尾市在住の幼児、児童生徒、保護者及び関係者

#### 【事業の内容】

幼児・児童生徒及び保護者の教育問題等に関する相談、軽度発達障害のある児童生徒の相談及び各種知能検査・発達検査を行う。

#### 【決算額】

平成28年度 15,881千円、平成29年度 210千円、平成30年度 248千円、

※ 平成29年度から相談員等の報酬に係る予算が総務部職員課に移管されたため、決算額が大きく減少した。

#### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育相談実件数 (実人数+電話相談(匿名))	544件	590件	499件
教育相談延べ回数 (面接相談+電話相談+メール相談)	8,072回	9,617回	9,260回
教育相談終結率 (終結(方向性を持って支援を継続しているケース+問題終結ケース)数/相談実件数×100)	68.50%	71.10%	72.20%

### 24 中学校部活動支援事業…指導課

部活動の充実及び活性化、生徒の意欲の向上と技能の向上を図る。また、生涯スポーツ・文化に親しむ習慣の基礎を養うことや目標を持った意欲的な学校生活を送ることができるようにする。全国・関東大会に出場する生徒の派遣費負担を図る。

#### 【事業の対象・対象数】

上尾市立中学校全生徒

#### 【事業の内容】

保護者、地域から部活動の活性化が望まれる中、部活動指導員を配置することで、生徒の技能の向上を図り、安全を確保する。全国・関東大会に出場する生徒の派遣にかかる費用を負担し、保護者負担を軽減する。

#### 【決算額】

平成28年度 3,752千円、平成29年度 3,765千円、平成30年度 3,218千円、

#### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
部活動指導員配置率 (学校配置指導員数/学校が希望する指導員数×100)	96%	100%	100%

運動部活動加入率 (運動部活動加入生徒数/生徒数×100)	75%	75%	71%
----------------------------------	-----	-----	-----

## 25 児童生徒体力向上推進事業…指導課

市立小・中学校の児童生徒の体力向上を図り、心身ともに健やかでたくましい人づくりを目指す。

### 【事業の対象・対象数】

上尾市中学校体育連盟・小学校体育連盟 上尾市立小・中学校全児童生徒

### 【事業の内容】

上尾市中学校体育連盟の学校総合体育大会及び県民体育大会兼新人体育大会の市内予選会や小学校体育連盟の陸上競技大会、親善バスケットボール大会などの実施をとおして、児童生徒の体力向上を目指す。

### 【決算額】

平成28年度 4,379千円、平成29年度 4,533千円、平成30年度 4,604千円、

### 【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新体力テスト総合評価 5ランク中上位3ランクの児童の割合 (小学校)	79%	82%	81%
新体力テスト総合評価 5ランク中上位3ランクの生徒の割合 (中学校)	88%	89%	88%

## 基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

### 施策6 学校保健の充実

#### ● 学校健康診断及び健康管理事業

### 【事業の概要】

児童生徒の健康保持増進を図るため、内科や歯科などの定期健康診断や日常の健康観察、学校保健組織活動を小・中学校で実施する。

### 【事業の対象・対象者数】

小中学校の児童・生徒

小学校・・・児童数 11,494人 中学校・・・5,743人 (H30.5.1現在)

### 【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	81,196,499	80,831,435円	79,904,340円

### 【参考指標】

\* DMF保有数 (過去にむし歯になったことがある歯の本数を表したもの)

指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度
DMF保有数	小学校	0.20本	0.21	0.16
	中学校	0.93本	0.87	0.92
	全体	0.44本	0.54	0.54

\* 健康診断 各検査受診人数及び2次検査受診人数・受診率

検査名	対象者	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
尿検査	幼・小・中全員	受診者	23,480人	23,119人	22,673人

	(中は年2回)	2次受診人数	688人	830人	782人
		2次率	2.9%	3.6%	3.4%
結核検診	小・中全員	受診者	17,720人	17,455人	17,152人
		2次受診人数	19人	14人	17人
		2次率	0.1%	0.1%	0.1%
心臓検診	小1、中1	受診者	3,840人	3,743人	3,664人
		2次受診人数	87人	41人	112人
		2次率	2.3%	1.1%	3.1%
脊柱側弯判定	小・中全員	受診者	17,546人	17,299人	17,027人
		2次受診人数	940人	985人	993人
		2次率	5.3%	5.7%	5.8%
貧血検査	中2	受診者	1,651人	1,540人	1,497人
		2次受診人数	120人	109人	148人
		2次率	7.3%	7.1%	9.9%

\* 定期健康診断（身長・体重・視力・聴力・内科・歯科・耳鼻科・眼科・心臓・尿）

\* 就学時健康診断（身長・体重・視力・聴力・知能・内科・歯科・耳鼻科・眼科）

\* 上尾市の学校給食において食物アレルギーに対応している児童生徒数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	244人	283人	298人
中学校	72人	73人	60人
全体	316人	356人	358人

\* 上尾市学校給食食物アレルギー対応方針の策定（平成30年度末）

## ● 学校環境衛生検査事業

### 【事業の概要】

学校の環境を衛生的に保持するため、学校薬剤師による定期環境検査を実施する。検査結果に基づき、学校への指導助言等を行い、必要な改善を図る。

### 【事業の内容】

#### \* 環境衛生検査の実施

- ・ 給食室定期検査 学期1回 年3回  
(手指大腸菌群検査、包丁、まな板大腸菌群、食器のでんぷん、脂肪質)
- ・ 空気検査 年2回  
(温度、相対湿度、二酸化炭素(年2回)ダニアレルゲン)
- ・ 照度検査 年2回(教室等の照度検査)
- ・ 黒板検査 年1回(明度・彩度)
- ・ 飲料水検査 年1回(水道水の遊離残留塩素等を検査)
- ・ プール水質検査 年1回(プール水の濁度、PH値、大腸菌などの測定)

### 【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	15,562,172	15,543,784円	15,112,183円

基本目標Ⅱ 豊かな心と健やかな体の育成

施策7 学校保健の充実

● 小学校給食調理支援事業

【事業の概要】

小学校の児童に安心・安全でおいしい給食を提供するため、小学校給食調理員を雇い入れし、調理業務等に従事していただく。

【事業の対象・対象者数】

小学校22校の 自校式給食調理場（各校の規模により正規給食調理員を含め、3名～8名配置）

嘱託給食調理員 42人

臨時給食調理員 19人

臨時短期給食調理員 23人

※正規調理員は、各校2名配置

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	113,523,213 円	112,429,493 円	112,441,872 円

【参考指標】

\* 年間給食実施回数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
年間給食実施回数	191.7回/校	191.6回/校	190.0回/校

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
たまねぎ	36Kg	35.5Kg	—
じゃがいも	244.1Kg	90Kg	11Kg
にがうり	—	10Kg	—
だいこん	226Kg	55Kg	—
精白米	—	44Kg	36Kg
白菜	—	18Kg	—
ごぼう	58Kg	11.5Kg	—
ブロッコリー	—	3Kg	—
キャベツ	82.2Kg	—	—
さといも	65Kg	—	—

\* 学校ファームで収穫され、学校給食に使用した野菜の種類と年間使用量

\* 朝ごはんの摂取率 単位：%

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度目標値
小学校	実績値	95.0%	94.7%	94.5%	
	目標値	95.5%	95.5%	96.0%	96.0%
中学校	実績値	93.4%	92.8%	92.0%	
	目標値	94.0%	94.0%	94.5%	94.5%

● 小学校給食室設備整備事業

【事業の概要】

給食調理に必要な厨房備品等の更新や修繕及びの保守点検や清掃などを行う。

【主な厨房備品等】

回転釜、フライヤー、オーブン、食器洗浄機、熱風消毒保管庫、球根皮むき機、牛乳保冷庫、冷蔵庫、スポットクーラー等

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	37,766,399 円	39,413,346 円	41,391,537 円

● 小学校給食管理運営事業

【事業の概要】

学校給食の献立作成や栄養計算に必要なパソコンソフトの借り上げや給食調理員等の資質向上のための研修会の開催、また、平成30年度より、県費の栄養士が配属されていない学校に、新たに市費により配置した臨時学校栄養士（10人）の雇用に関する事業。

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	30,626,037 円	32,076,678 円	52,853,160 円

● 小学校給食室衛生管理推進事業

【事業の概要】

小学校給食室の衛生管理に必要な消耗品購入、細菌検査、給食室洗浄・消毒などを行う事業。

【事業の主な内容】

- ・ 細菌検査（検便検査 月2回）
- ・ 給食室洗浄（22校 年1回）
- ・ 給食室殺虫消毒（22校 年2回）
- ・ 給食室殺菌消毒（22校 年2回）

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	20,656,240 円	22,276,102 円	24,485,021 円

● 調理場備品等整備事業

【事業の概要】

食器類、食器洗浄剤、消毒薬、照明器具、ボイラー用薬剤及び、厨房等での必要な消耗品を購入する。また、老朽化した機器の更新、法令検査等で指摘された設備等の修理や機器類の備品等を整備する。

【事業の対象】

中学校給食共同調理場及び中学校11校の自校調理場

【主な厨房備品】

炊飯システム、グランドケトル、蒸気回転釜、フライヤー、ロースター、食器洗浄機、熱風消毒保管庫、球根皮むき機、カッターミキサー、蒸庫、牛乳保冷庫、冷蔵庫等

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	53,381,572 円	46,977,944 円	35,129,560 円

● 中学校給食調理業務委託事業

【事業の概要】

コスト軽減、作業効率性、給食の均質化の観点から、調理業務（調理・搬送・洗浄・ボイラー管理）を委託する。

【事業の対象】

中学校給食共同調理場及び中学校 11 校の自校調理場

【決算額】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
決算額	204,055,200 円	204,055,200 円	213,192,000 円

【参考指標】

\* 年間給食実施回数

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
年間給食実施回数	187 回	187 回	187 回

● 中学校給食献立作成事業

【事業の概要】

中学生にあった献立を作成する必要があるため、献立原案を共同調理場の栄養士が作成し、校長、教頭、給食主任を中心とした学校職員、PTA 代表者、学校栄養士等からなる献立部会にて審議決定し、献立を作成する。

【事業の主な内容】

栄養管理システムの保守、借上料及び栄養成分表改訂業務委託等

【決算額】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
決算額	182,452 円	365,892 円	989,319 円

● 中学校給食共同調理場管理運営事業

【事業の概要】

中学校給食共同調理場の維持管理及び衛生管理に係る経費。

【事業の主な内容】

- ・ 燃料費、光熱水費、下水道使用料
- ・ 設備保守点検業務  
機械警備等  
汚水処理設備保守  
電気工作物保守
- ・ 細菌検査（検便検査 月 2 回）
- ・ 清掃業務等  
調理場及び給食室洗浄清掃（年 1 回）  
調理場及び給食室殺虫消毒（年 2 回）

【決算額】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
決算額	57,255,368 円	63,697,216 円	67,880,741 円

26 学校評議員制度運営事業…指導課

学校運営に関し、保護者や地域住民の意向を把握し、意見等を反映させたり、協力を得たりするなど、特色ある開かれた学校づくりを推進するため、学校評議員制度の運営充実を図る。

【事業の対象・対象数】

上尾市立各小・中学校 各校 5 人×30 校＝150 人

【事業の内容】

学校評議員の委嘱及び学校評議員研修会の開催等



**【決算額】**

平成28年度 610千円、平成29年度 590千円、平成30年度 533千円、

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1校当たりの学校評議員会議の開催回数	3.30回	3.21回	3.16回
学校の自己評価等に関する意見聴取回数	1.61回	1.21回	1.39回

**27 コミュニティ・スクール推進事業…指導課**

学校・家庭・地域が一体となって、より良い教育の実現に取り組むために、地域のニーズを的確に学校運営に反映させるよう保護者や地域の方々が、学校運営協議会を通して学校運営に参加する仕組みを構築する。

**【事業の対象・対象数】**

上尾市立各小・中学校

**【事業の内容】**

学校運営協議会設置に係る準備等

**【決算額】**

平成28年度 0円、平成29年度 219千円、平成30年度 404円

**【参考指標】**

指標名	平成28年度	平成29年度	平成29年度
学校運営協議会検討委員会実施回数	—	3回	3回
学校運営協議会設置校数	—	0校	3校

**28 学校施設更新計画策定事業…教育総務課**

学校施設の老朽化が進み、大規模な整備や修繕が必要となる中、上尾市学校施設更新計画策定基本方針に基づき、今後40年間を見据えた、上尾市学校施設更新計画を策定する。

**【事業の対象】**

上尾市立小・中学校

小学校22校 中学11校

**【事業の内容】**

民間企業による策定支援を受けながら、6回の上尾市学校施設更新計画策定委員会と、7回の同作業部会、また、3回の学校施設ミーティングと2回の懇話会を経て、上尾市学校施設更新計画基本方針（案）を策定した。

**【決算額】**

平成30年度 11,024,000千円

**29 小中学校図書整備事業…教育総務課**

子どもたちの自主的・自発的な学習活動を支援するとともに、豊かな感性や情操を育む読書活動を推進するため、「学校図書館図書標準」（平成5年3月）を目標に、充実した学校図書館図書の整備を図る。

**【事業の対象・対象数】**

小中学校の児童・生徒（平成30年5月1日現在）

小学校・・・児童数 11,490人 中学校・・・生徒数 5,711人

**【事業の内容】**

学校図書標準の早期達成に向け、図書の計画的な整備を図る。

**【決算額】**

平成28年度 28,139千円、平成29年度 23,240千円、平成30年度 30,143千円

**【参考指標】**

図書標準目標達成率 (%)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
小学校	100.00	99.80	101.20
中学校	92.10	92.70	96.90

**30 小中学校教育教材整備事業…教育総務課**

授業等で使用する学習教材、教具の整備・充実に努め、学習環境を整備する。

**【事業の対象・対象数】**

小中学校の児童・生徒（平成30年5月1日現在）

小学校・・・児童数 11,490人 中学校・・・生徒数 5,711人

**【事業の内容】**

授業等で使用する学習教材の整備

**【決算額】**

平成28年度 33,762千円、平成29年度 30,569千円、平成30年度 30,206千円

**31 小中学校コンピュータ整備事業…教育総務課**

- ・ 子どもたちの情報活用能力を育成するための教育機器の整備
- ・ ICT（情報通信技術）を活用した効率的な授業実現のための授業支援機器の整備
- ・ 校務の効率化のための校務機器の整備

**【事業の対象・対象数】**

小中学校の児童・生徒及び教職員（平成30年5月1日現在）

小学校・・・児童数11,490人、教職員数629人

中学校・・・生徒数 5,711人、教職員数354人

**【事業の内容】**

学校に配置しているコンピュータシステムの整備及び整備機器の保守

※ パソコン2,787台（教育用1,702台、校務用1,085台）、プリンタ、その他周辺機器

**【決算額】**

平成28年度 156,851千円、平成29年度 178,832千円、平成30年度 211,682千円

**【パソコン設置台数】**

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
教育用パソコン	1,453台	1,453台	1,702台
校務用パソコン	1,087台	1,125台	1,085台

**32 児童生徒安全推進事業…学校保健課****【事業の概要】**

学校管理下における児童生徒の安全・安心を確保するため、AEDの配備や教職員向けの応急手当普及員講習会などを行う。

また、学校管理下における災害（負傷、疾病、障害又は死亡）に対し、災害共済給付を支給する。

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	21,577,097 円	22,536,834 円	20,895,878 円

【参考指標】

\* AED使用状況

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
AED使用状況	1 件 通電あり	2 件 いずれも通電なし	3 件 うち1回通電あり

\* 防犯ブザー貸与数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
防犯ブザー貸与数	2,100 人	2,050 人	1,950 人

\* 応急手当普及員受講者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
応急手当普及員受講者数	18 人	24 人	27 人
当該年度 総資格者数	81 人	99 人	106 人

\* (独行) 日本スポーツ振興センターからの災害共済給付

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
給付件数	2,309 件	2,237 件	1,954 件
給付金額	14,887,761 円	15,925,386 円	13,758,627 円
給付金額 1 件平均額	6,447 円	7,119 円	7,041 円

### 33 学校安全パトロールカー事業…学校保健課

【事業概要】

児童生徒及び地域の防犯に資するため、学校・PTA及び地域が連携し、中学校区を単位として青色回転灯付パトロールカーにより巡回する。

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	2,923,660 円	3,548,318 円	4,838,414 円

【参考指標】

\* 学校安全パトロールカー 運行実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1 台月平均パトロール回数	15.8 回	13.7 回	14.2 回
1 台 1 回平均距離	14.8Km	15.1Km	16.4Km
1 台 1 回平均運行時間	1H06M	1H06M	1H07M

\* 登下校時の交通事故件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童生徒交通事故件数	29 件	40 件	23 件
うち登下校時の件数	5 件	8 件	6 件

### 34 通学路安全対策事業…学校保健課

【事業概要】

登下校中の児童の安全を図るため、グリーンベルトの設置や外側線の表示等の通学路改善工事を実施する。

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	2,430,000 円	1,954,800 円	2,257,200 円

\* 工事概要

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷小 グリーンベルト</li> <li>・大石南小 グリーンベルト ラバーポール</li> <li>・平方北小 区画線 グリーンベルト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央小 グリーンベルト</li> <li>・上平北小 すべり止め塗装</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東小（平塚地内） グリーンベルト</li> <li>・東小（上尾村地内） グリーンベルト</li> <li>・今泉小 グリーンベルト</li> </ul>

35 通学区見直し区域登下校サポート事業…学務課

学校規模の適正化や登下校時の児童の安全確保を主な目的で、通学区域を見直した区域において、通学班編制が整わない箇所の低学年について安全確保を図る。

【事業の対象・対象数】

①浅間台・小泉地区（西小学区域）②地頭方・壱丁目・壱丁目地下道（平方東小学区域）③大谷地区（鴨川小・今泉小学区域）

【事業の内容】

通学区域を見直した①浅間台・小泉地区（西小学区域）②地頭方・壱丁目・壱丁目地下道（平方東小学区域）③大谷地区（鴨川小・今泉小学区域）において、通学班編制が整わない箇所の低学年が登下校する際に見守りサポートを行う。

【決算額】

平成28年度 2,165千円、平成29年度 3,487千円、平成30年度 3,662千円

36 入学準備金・奨学金貸付事業…教育総務課

高等学校、大学等への進学を意欲を有する者で経済的な理由により修学困難な者に入学準備金又は奨学金の貸付をし、進学の支援を行う。

平成30年度においては、新規と継続で19人に、合計で706万円の貸付を行った。

【決算額】

平成28年度 6,240千円、平成29年度 8,580千円、平成30年度 7,060千円

37 小中学校就学援助費補助事業…学務課

経済的理由により就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対し、就学に必要な費用を支給することにより、児童生徒の就学に係る経済的負担を軽減し、義務教育の円滑な実施を図ることを目的とする。

【事業の対象・対象数】

対象者 就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者

対象となる児童生徒（平成30年度 児童 1,185人、生徒 829人）

※人数は要保護児童生徒、入学前支給児童生徒を含む

【事業の内容】

経済的理由により就学が困難と認められる市立小中学校在籍児童生徒等の保護者に対して、学用品費、修学旅行費、学校給食費等の就学に必要な経費の一部を援助する。

【決算額】

平成28年度 52,593千円、平成29年度 72,787千円、平成30年度 60,918千円

38 要保護児童生徒医療費援助事業…学校保健課

経済的な理由により就学困難な市内の小・中学校に在籍している学齢児童生徒の保護者に対し、学校病についての医療費を援助する。

【対象者数】

要保護児童生徒数 95人（H30.5.1現在）＜H29同時期 109人、H28同時期 105人＞

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	128,750円	66,990円	79,661円

【参考指標】医療券交付件数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
医療券交付件数	8件	18件	21件

39 準要保護児童生徒給食費援助事業…学校保健課

教育委員会が要保護に準じて生活に困窮していると認めた、市内の小・中学校に在籍している学齢児童生徒の保護者に対し、学校給食費の援助を行う。

【決算額】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額	82,636,130円	82,909,948円	83,033,099円

【参考指標】支給対象数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
支給対象者数	1,686人	1,695人	1,704人

40 元気な学校をつくる地域連携推進事業…指導課

地域の方々の児童生徒の活動にかかわる取り組みの機会を増やし、学校に協力いただくとともに、深く学校を理解していただき、地域で子どもを育てるという意識を高める。また、学校応援団員の専門的な知識やすぐれた技術など、地域の教育力を学校教育に積極的に活用し、より効果的な学習活動を推進する。

【事業の対象・対象数】

上尾市立小・中学校 33校

【事業の内容】

学校が積極的に家庭や地域社会の教育にかかわることにより、学校の活性化を図るとともに、家庭や地域社会の教育力の向上を目指し、学校・家庭・地域社会が一体となって子どもの育成に取り組む。地域から学校応援団を組織するとともにコーディネーターを介して、学校に対しての学習支援や環境整備、児童生徒の安全確保・事故防止の支援などを行う。

【決算額】

平成28年度 402千円、平成29年度 402千円、平成30年度 402千円、

【参考指標】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
各学校の学校応援団登録者数合計	5,481人	4,746人	5,182人
各学校の学校応援団活動日数合計	13,695日	13,818日	13,046日

41 家庭教育推進事業…生涯学習課

家庭教育の重要性を理解し、家庭教育の充実を図るため、市PTA連合会に関する事業を委託するほか、共催で講演会を開催する。また、家庭教育に関する講座を行う市内幼稚園等の保護者会を支援する。

(家庭教育講座)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
家庭教育講座参加者数(延べ)	1,021	850	1,071
補助対象園数	5園/22園	6園/19園	6園/22園

(PTA連合会講演会)

年度	講演会参加者数	講演内容・講師
平成28年度	273	「創造力より想像力～10年後の大人たちへ～」講師：萩原 浩 (作家)
平成29年度	283	「プロに学ぶ 人へのモノの伝え方」講師：三遊亭 楽生 (落語家)
平成30年度	573	「親バカ」のススメ～子どもの才能を引き出す法則とは～講師：辻井 いつ子 (ピアニスト 辻井伸行氏の母)

42 生涯学習指導者活動推進事業…生涯学習課

様々な経験・技術を持つ指導者（公的あるいは民間資格取得者、熟練した現役あるいは退職者など）で希望する人を「上尾市まなびすと指導者バンク」に登録し（登録者実人数133人 平成30年度末）、その情報を、指導者情報誌（年間500冊刊行）やホームページで、指導者を必要としている人に提供する。

「上尾市まなびすと指導者バンク」に登録する人の中の有志によって構成されている「上尾市まなびすと指導者バンク活動推進会議」の活動のうち、「上尾市まなびすと市民講座」「ちょっとだけ体験ひるば」を市が支援している。これは市民へまなびすと指導者バンクの活動を周知することを目的としての支援である。

平成30年度「上尾市まなびすと市民講座」の講座数・受講者数

会場	講座数	受講者数
芝川小市民講座	8講座	98人
平方東小市民講座	6講座	42人
富士見小市民講座	34講座	688人
合計	48講座	828人

また、「ボランティア指導者養成講座」や「まなびすと登録者研修」を実施することにより、講師の養成や講師の資質の向上を図っている。

その他、公民館や小学校特別開放教室を拠点に活動を行っている生涯学習サークル・グループの情報をまとめ、情報誌やホームページで市民に情報の提供を行う。

#### 43 公民館講座事業…生涯学習課

市民の学習活動のきっかけとなるような多種多様な学習機会の提供や、市民が地域社会に興味・関心を持つきっかけ作りの支援として、公共の課題に関する学習機会の提供を行う。

また、土曜日の教育支援事業として、次世代を担う子供たちに向けて、知的好奇心を刺激するような学習機会の提供を行う。

##### 【公民館講座実施事業】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業数	128事業	127事業	135事業
参加延べ人数	8,447人	7,929人	8,286人

※ 土曜日の教育支援事業を含む。

(土曜日の教育支援事業)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業数	22事業	22事業	24事業
参加延べ人数	540人	539人	708人

※ 平成28年度から実施

<決算額>

平成30年度 2,233,480円 (公民館講師謝礼)

#### 44 大学等との連携による生涯学習推進事業…生涯学習課

大学等の教育機関や民間企業と連携を図り、それぞれの特色のある技術や人材を生かし、魅力ある新しい学習機会を提供する。

- 子ども大学あげお・いな・おけがわ (全5回)

上尾市、伊奈町、桶川市、聖学院大学、日本薬科大学で実行委員会を作り、2市1町の小学5・6年生を対象に実施。

応募人数 80人、延べ参加者数 285人

【負担額】平成30年度 50,000円

- あげお子ども大学 (全3回)

平成30年度は、上尾中央総合病院、ものづくり大学、芝浦工業大学と協働で、市内の小学5・6年生を対象に実施。

応募人数 38人、延べ参加者数 74人

【決算額】平成30年度 115,000円

- 高齢者向けインターネット体験教室 (3講座)

UDトラックス株式会社と共催で、市内在住の60歳以上のパソコン初心者向けに実施。

参加者数 43人

- 聖学院大学公開講座 (5講座全10回)

上尾市、さいたま市、聖学院大学の共催で、18歳以上を対象に、5/12～7/14の毎週土曜日に実施。

延べ参加者数 1,979人

【委託料】平成30年度 50,000円

#### 45 成人式事業…生涯学習課

新成人の限りない前途を祝福し、20歳を迎える若者が社会人としての自覚を高められるよう、「成人式」を開催する。

成人式を機会に、ふるさと「上尾」の意識を高め、社会人・市民としての自覚を促すことにより、今後のよりよいまちづくりに有効である。

新成人が成人式の実行委員会を組織し、企画・運営に参加している。

- ・ 成人の日に近い日曜日に実施
- ・ 11月1日の住民票の情報を基に対象者を抽出し招待状を発送する。
- ・ 平成30年度

平成31年1月13日（日）上尾市文化センター

対象者 2,317人 出席者 1,674人（72.2%） 決算額 1,150,023円

#### 46 学校施設開放（生涯学習）事業…生涯学習課

市内の小学校（平方東・芝川・富士見）の特別教室を学校教育に支障の生じない範囲において、市内で活動する生涯学習団体に対して学習活動の拠点として開放する。

##### 【主要事業の実施状況】

指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用団体登録数	103団体	95団体	103団体
利用件数	1,238件	1,367件	1,323件

<決算額>

平成30年度 3,054,415円

#### 47 人権教育推進事業（生涯学習課所管分）…生涯学習課

上尾市人権教育推進協議会や、職員を対象とした人権問題研修会を開催し、各種団体が開催する研修会・会議等へ参加する。また、市内小中学校の児童・生徒を対象に人権標語コンクールを実施する。

##### 【人権標語作品応募点数】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
応募点数	17,411点	17,084点	16,765点

【決算額】 平成30年度 929,900円

#### 48 人権教育集会所運営事業…生涯学習課

原市集会所・畔吉集会所において、集会所利用者や地域の人々を対象に、集会所講座・教室や人権研修などを実施する。

##### 【人権教育集会所利用者数】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利用者数	24,410人	24,163人	23,182人

##### 【人権教育集会所主催講座・教室参加者数】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加者数	724人	851人	934人
事業数	42事業	46事業	45事業

【人権問題指導者研修会参加者数】



	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加者数	449人	501人	467人

平成30年度 研修テーマ

『同和問題』・『ハンセン病についての人権問題』・『普遍的な人権問題』

#### 49 図書館資料整備事業…図書館

市民の生涯学習を支え、知る自由を保障する施設として、必要とされる図書資料や情報を収集・整理し提供を行う。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
蔵書数	567,138冊	562,358冊	566,881冊
利用者数	405,641人	393,910人	399,264人
貸出資料点数	1,262,705点	1,217,427点	1,220,545点
対面朗読利用者数	71人	80人	78人
デジタル化資料送信サービス	212回	315回	151回

図書館資料整備事業においては、平成30年度は平成29年度と比較すると、蔵書数0.8%、利用者数1.4%、貸出利用点数0.3%の増加となった。

一方、障害者サービスの対面朗読利用者数は、平成29年度80人から平成30年度78人に減少し、図書館向けデジタル化資料送信サービスの閲覧利用実績も平成29年度315回から平成30年度151回に減少しており、引き続き多様化する利用者ニーズに応えられるよう努めるとともに、サービスの周知方法などを見直していく必要がある。

図書資料整備における今後の方向性としては、本館・分館等の一括選書を継続して行い、地域の特性を考慮し、魅力ある蔵書の構成になるよう検討する。また、本館・分館等の機能の充実についても、施設の現状、地域特性、利用状況を踏まえ、本館・分館等のあり方の検討を進め、利用しやすい施設となるようサービス向上を図っていく。

#### 50 子どもの読書活動支援センター運営事業…図書館

あげお子ども読書プランに基づき、家庭・地域・学校と図書館の連携を図り、子供の読書活動を推進する。

子どもの読書に関する情報収集・提供、講師派遣、講演会、講座の開催、読書ボランティアの育成、子供向け読書イベントの開催・学校支援などを行う。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出張おはなし会・子供向け読書イベント	53回	49回	54回
読書ボランティア養成講座	16回	13回	4回
あっぴいぶっくる本	小学校 22 か所 中学校 11 か所 平方幼稚園 1 か所 計34か所	小学校 22 か所 中学校 11 か所 平方幼稚園 1 か所 市内保育所 15 か所 計49か所	小学校 22 か所 中学校 11 か所 平方幼稚園 1 か所 市内保育所 15 か所 計49か所

子どもの読書活動支援センター運営事業においては、家庭・地域に対する支援として、地域の読書普及活動の担い手となる読み聞かせボランティアの育成や派遣、保護者の絵本の相談に応える「おやこで絵本サロン」や子供向けの読書イベントの定期開催、市内の小学生に配布する「読書パスポート」の活

用を図っている。

学校に対する支援として、小学校・中学校、平方幼稚園及び市立保育所に対して、「あっぴいぶつくる本」の巡回貸出を行った。また、学校図書館支援員に対して、子供を本好きにできる学校図書館をつくるために、前期33校、後期8校の小学校・中学校に支援センター協力員が外向き学校図書館の配架や本の選定などについて指導を行ったほか、子供の豊かな読書経験の機会の充実のために、学校図書館でのブックトークや絵本の読み聞かせなどの実践についても支援を行った。

子どもの豊かな読書経験の機会を充実させていくためには、引き続き魅力ある学校図書館の整備が必要であることから、今後も本事業を継続する。

## 51 ブックスタート事業…図書館

4か月児健診時に、赤ちゃんと保護者に絵本を開く楽しい体験とともに絵本を手渡す。絵本を通して、赤ちゃんと保護者がゆっくりと向き合い、心触れ合うひとときを過ごすきっかけをつくる。また、本事業は小学校1年生を対象に行うセカンドブックスタートにも接続する事業となる。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
配布人数	1,611人	1,531人	1,481人
対象者	1,646人	1,566人	1,512人

ブックスタート事業においては、乳児は生後4～7か月で視力発達がなされ、視野が広がる時期であるため、この時期に読書支援を行うことは、その後の子供の読書習慣を形成する上で効果が高い。また、絵本の読み聞かせを通じて、乳児が「ことば」「絵」と出会うきっかけをつくるとともに、保護者やきょうだいのコミュニケーションづくりにも寄与していることから、子育て支援の一翼を担うものとしても成果を上げている。

また、4か月児健診は、受診率が約98%と他の検診より受診率が高いため、多くの乳児に本との出会いの場を提供する機会として最適であり、検診の待ち時間に読み聞かせを行うことで時間と場所を効率的に活用できている。このようなことから、今後も本事業を継続する。

## 52 セカンドブックスタート事業…図書館

市内小学校1年生を対象に図書カード入りが付いている読書パスポートを配布し、家庭・学校・地域・図書館が連携することにより、読書好きな子供たちを育成する。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
配布人数	1,913人	1,826人	1,825人
対象者	1,913人	1,826人	1,825人

セカンドブックスタート事業においては、図書館の使い方、おすすめの本及びおはなし会の紹介と読書記録の機能を兼ね備えた「読書パスポート」を市内小学校1年生に配布し、ブックスタート事業で乳幼児から育まれた読書への興味をさらに伸ばし、読書活動を推進している。

読書パスポートの「読書記録(別冊)」に300冊分の記録を記入した児童を対象に、新たな別冊を配布している。学校や分館等への在庫補充を含む配布冊数は、平成30年度336冊と、平成29年度の488冊と比較して減少しているものの、引き続き安定的に300冊を達成した児童がいることから、本事業が児童にとって読書を継続的に行う励みになっているといえる。

学年が進むにつれ、読書離れが進むという全国的な傾向があり、国・県・他市町村の動向を注視しながら子供が本好きになるような対策を検討する必要がある。

ブックスタート事業に引き続き、小学校6年間にわたって自ら読書に親しむ習慣を身につけ、読書好きな子供たちを育成する本事業を継続する。

### 53 文化芸術振興事業…生涯学習課

文化の薫るまち上尾を目指し、市民一人ひとりが心豊かに過ごせるよう、自ら進んで文化活動ができ、その成果を発表する機会及び市民への芸術鑑賞の機会を提供する。

文化芸術振興事業では、市民の文化・芸術活動の展開や活動団体の育成を支援しており、毎年開催している「上尾市文化芸術祭」では、文化団体連合会加盟団体間の交流を図りつつ、日頃の研鑽の成果を発表する機会を提供している。また、多くの市民が広く文化・芸術に親しむことができるよう、行政と民間、文化団体等との連携を図り、市民が文化・芸術に触れる機会を提供している。

- ・平成30年度においては、文化団体連合会の事業に対し、上尾市社会教育関係団体補助金750,000円を交付した。また、上尾市文化芸術振興基金の管理を行った。
- ・文化団体連合会加盟団体の自主的な活動が活性化するよう、後進の育成や発表会などの支援を行った。

[市文化振興事業における来場者アンケート調査結果]

芸術を享受できていると感じている市民の割合

平成28年度 約76%⇒平成30年度 約83%

### 54 美術展覧会事業…生涯学習課

広く市民の美術活動の普及を図り、豊かな人間性を養い、市民文化の向上に寄与することを目的として、上尾市美術展覧会を開催する。

- ・平成30年度は、上尾市コミュニティセンターと上尾市民ギャラリーを会場として開催し、出品数が485点、来場者数が2,199人であった。

<決算額>

平成30年度 1,415,486円（主な支出：8報償費337,140円、11-4印刷製本費447,066円、12役務費40,000円、13委託料49,950円、14材料及び賃借料473,550円）

### 55 音楽家芸術活動支援事業…生涯学習課

上尾市にゆかりのある音楽家の交流・活動の場を提供することにより、地元での芸術活動を支援する。それらの音楽家により、市内ホールでクラシックコンサートを開催することで、多くの市民に身近に楽しめる芸術鑑賞の機会を提供している。また、市内小学生向けにアウトリーチコンサートを開催し、後進の育成に寄与している。

平成30年度は、上尾市コミュニティセンターホールにおいてクラシックコンサートを開催した。チケットは完売し、訪れた市民からは、高い評価が得られた。市内小学生向けのアウトリーチコンサートでは、6校（平方小、鴨川小、瓦葺小、平方北小、大石北小、上平北小）の小学校の協力により、全8回公演を行うことができた。

<決算額> 平成30年度 1,193,399円（主な支出項目：出演者謝礼）

### 56 市民音楽祭事業…生涯学習課

地域芸術文化の振興に寄与することを目的とする。合唱祭、邦楽祭、吹奏楽・器楽祭の3部門で開催。実行委員会形式で実施することで参加団体間の交流を図りながら、市民による音楽活動団体に発表の場を提供して、広く音楽活動の普及を図る。

平成30年度において、合唱祭と吹奏楽・器楽祭は上尾市文化センターで開催、邦楽祭は上尾市コミュニティセンターで開催した。合唱祭は27団体が参加し、入場者数1,371人。邦楽祭は13団体が参加し、入場者数334人。吹奏楽・器楽祭は11団体が参加し、入場者数976人。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加団体	47団体	53団体	51団体
入場者数	2,213人	2,709人	2,681人

※3部門合計数

<決算額> 平成30年度 663,765円 (主な支出項目: 会場借上料の使用料及び賃借料)

#### 57 文化財調査・保存事業…生涯学習課

市文化財保護条例に基づき、市内に所在する文化財のうち重要なものを市指定文化財等として指定し、その保存及び活用を図っている。また、これらの文化財の管理や修理のための補助金と維持のための交付金を交付している。

また、平成28年3月2日に国の有形民俗文化財に登録された「上尾の摘田・畑作用具」について、実測図の作成や用具に関する調査を行い、その成果をもって国の重要有形民俗文化財の指定を目指す、「上尾の摘田・畑作用具」資料調査整備事業を平成29年に引き続き実施した。平成31年度完了を予定している。

#### 58 埋蔵文化財調査事業…生涯学習課

文化財保護法に基づき、埋蔵文化財を保護するため、範囲確認や記録保存の調査を実施する。埋蔵文化財包蔵地で土木工事等の計画がある場合、先立って保存すべき遺構・遺物の有無と、その範囲を確認するために試掘調査を実施する必要がある。

調査は文化財保護法により市町村教育委員会が実施するものとされており、埋蔵文化財発掘の届出を受理し、保存すべき埋蔵文化財の有無を試掘調査により確認して埼玉県教育委員会に進達する。また、保存すべき埋蔵文化財が確認された場合は、記録保存するために発掘調査を実施し、調査報告書を刊行する。

##### ・平成30年度実績

試掘調査	41件
発掘調査	0件
遺物整理	1件
調査報告書刊行	1件

#### 59 文化財保護・啓発事業…生涯学習課

文化財保護の啓発のため「あげお歴史セミナー」及び「上尾の文化財展」などを実施する。

##### ● あげお歴史セミナー

第1回(6/8) テーマ郷土愛育成事業 子ども歴史教室「あげお歴史探検ツアー」 参加者: 26人

第2回(9/18, 9/26) テーマ「近代化遺産をめぐる ~明治150年・レンガ・歴史まちづくり」

参加者: 34人

第3回(3/17) ミニシンポジウム「上尾の無形文化遺産のいま」 参加者: 35人

##### ● 上尾の文化財展

・尾山台遺跡と周辺の遺跡展(8/4~8/7)

・「第7回上尾の昔-あそび・くらし展」(10/7~15)

・国登録文化財「上尾の摘田・畑作用具」公開(10/28)

・市制施行60周年記念展「写真・映像で振り返る上尾のあゆみ」(3/1~6)

##### ● 出前講座、総合的学習、教職員研修など(9件)

## 60 歴史資料調査事業…生涯学習課

市史編さん事業で収集を行った歴史資料について、保存や利用のために、分類整理した目録の作成を行い、閲覧が可能な状態にする。

平成30年度においては、「旧大谷農業協同組合文書目録」第3巻を刊行した。

## 61 スポーツ大会・教室等開催事業…スポーツ振興課

様々な大会・教室等を開催し、生涯スポーツ・レクリエーションの普及、推進を図る。また、各種大会を通じ、心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する事を目的とする。

平成30年度の参加人数については、いきいきライフ大運動会が995人、シティマラソンが7,601人、市民体育祭が約10,000人であり、スポーツ大会の参加人数の合計は18,596人であった。また、いきいきスポーツ教室が225人、スポーツ・ステップアップ講座が46人であり、スポーツ教室等の参加人数合計は271人であった。

なお、市民駅伝は、事前に、積雪に伴う路面凍結が見込まれたことにより中止した。

## 62 子どもの体力向上地域連携事業…スポーツ振興課

子どもの体力低下が問題視されている中、子どもたちに運動や遊びを通じて体を動かす場と機会を提供し、運動する習慣や意欲を養い、体力の向上を図ることを目的とする。小学5年生を対象にしたドッジボール大会や、中学生を対象とし埼玉上尾メディックスを講師に招くバレーボール教室、短期間で基礎的な技術を習得できる夏休みスケート教室などを実施している。

平成30年度の事業の参加人数は、小学生ドッジボール大会が472人、バレーボール教室が167人、げんきチャレンジとして開催した走り方教室が94人、夏休みスケート教室が延べ139人など、合計参加人数は872人であった。

## 63 学校施設開放（スポーツ振興）事業…スポーツ振興課

市内在住、在勤、在学者に対し、身近な施設である学校施設（校庭・体育館・武道館）を開放することにより、スポーツの振興を図る。学校施設開放の利用の適正化を図り、使用しやすい施設となるよう老朽化に伴う修繕及び備品の交換・補充、固定テント等の設置など整備を行っていく。また、学校施設開放運営委員会へ交付金を配分している。

平成30年度の学校開放施設について、校庭の利用者数は174,678人、体育館の利用者数は172,318人、武道館の利用者は18,807人であり、合計利用者数は、365,803人であった。平成30年度の利用登録団体数は、小学校が348団体、中学校が101団体であり、合計は449団体であった。

## 64 スポーツ活動推進事業…スポーツ振興課

スポーツ・レクリエーション活動が安全で楽しく行われるためには、スポーツ指導者が不可欠であり、その育成と資質向上が重要となる。そのため、地域スポーツの推進を担うスポーツ推進委員等の研修や講習会を実施し、市民への生涯スポーツ・レクリエーションの普及、振興を図ることを目的としたスポーツ推進委員連絡協議会の活動を支援し、スポーツ活動の推進を図る。

平成30年度のスポーツ推進委員の研修日数は14日であり、スポーツ推進委員研修参加人数は、延べ204人であった。